



BLS 総合シミュレーション課題

<到達目標>

受講者が、バイスタンダー（救助者）として、「傷病者の発見」から緊張感を持って手当の一連動作（シミュレーション）を総合的に実施することにより、実際の現場に於いても、安全で確実な方法を落ち着いて実践できる適切な状況判断力と正しい手当、また現場に応じた応用力を身につけさせる。なお講習展開やシナリオは一例であり、講習会会場や受講生人数、スタッフ数によって臨機応変に変更しても良い。

<講習展開例>

各班毎（約4名前後）に救助者1名・協力者2名・評価係1名を決定し、傷病者及び救助者の状態、救助の場所、使える救助資材、周囲の状況など、指定の場面設定に従って心肺蘇生法のシミュレーションを実施する。場面設定により、受講者が状況を判断し、協力者や救助資材等を活用して傷病者を救助することを体験させる。

- ① 指導者が全班へ一斉に場面設定を説明（シナリオを朗読）する。（約1分間）
- ② 「始め！」の合図で開始。受講者は、「傷病者の発見（発生）」から始める。
- ③ 「やめ！」の合図で終了。（実施3分間をストップウォッチ等で計測）
- ④ 救助者・協力者・評価係がそれぞれの役割を実際的に果たすよう指示する。
- ⑤ 評価係は各シミュレーションで気付いた点を交代の際に班員に簡単に情報共有する。
- ⑥ 素早くメンバーを交代（交代時間1分間）し、シナリオを変えて、全員に実施する。
- ⑦ 受講者一人一人に対しての指導員からの評価は行わず、指導のポイントをふまえて最後にまとめてコメントする。質問のある場合も同様。

<指導のポイント>（指導員からの評価）

- ・二次事故（災害）に留意しているか？
 - ・バイスタンダー（救助者）としての役割を果たしているか？
 - ・的確な状況判断をしているか？
 - ・救助資材や、周りの資材を有効に活用しているか？
 - ・安全な方法で手当しているか？（含、救助方法の選択）
 - ・手当は適切か？
 - ・救助にかかった時間は？
 - ・事故者の扱い方はどうだったか？
- ※ 指導目標・ポイントを再確認し、例え受講者が失敗しても、今後の受講者の行動意欲を高揚するような言葉を添える。（良かったところは誉める。）

<場面設定例>

救助資材（1班4人で、班ごとに）

- ・人工呼吸用感染防御具（フェイスシールド または フェイスマスク）1～3個
- ・AED トレーナー 1台

【シナリオ①】*****

「あなた（救助者）は早朝一人で道路の歩道を散歩していました。交差点にさしかかった時、目の前の歩道上に一人の中年男性が倒れているのを発見しました。男性は意識（反応）がなく呼吸もない状態で、出血は無い様子です。あなたは携帯電話を持っています。さらに、声の届く範囲に数名の歩行者が見られました。」

【シナリオ②】*****

「あなた（救助者）は通勤途中の駅のホームで電車を待つて並んでいます。列の前の方にいた女子大生が突然崩れるように倒れるのを発見しました。女子大生は意識（反応）がなく呼吸もない状態で、額に僅かな出血が見られます。周りにはたくさんの通勤客がいます。」

【シナリオ③】*****

「あなた（救助者）はお昼に自宅でトイレにいました。用を済ませて出てくると、部屋に5歳の幼稚園児の姪が倒れているのを発見しました。姪は意識（反応）がなく呼吸もない状態で、出血は無い様子です。部屋には電話があり、あなたも携帯電話を持っていました。但し、家には他に誰もいません。」

【シナリオ④】*****

「あなた（救助者）は夜、一人で高級ホテルのとても広い屋外の駐車場に車を止めました。車を降りて歩いていると薄暗い駐車場内に高校生らしき男性が倒れているのを発見しました。男性は意識（反応）がなく呼吸もない状態で、手足に擦り傷が見られます。すぐそばに壊れた自転車が転倒していて、見通せる範囲には人影はないが、あなたは携帯電話を持っています。」

【シナリオ⑤】*****

「あなた（救助者）は激しい雨の中、二人の友人とともに徒歩で映画館に向かっていました。映画館前の広い屋外テラスに来た時、テラスに一人の高齢の女性が倒れているのを発見しました。女性は意識（反応）がなく呼吸もない状態で、周りに吐きだした胃内容物が散乱していました。3人とも携帯電話を持っています。」

なお各シナリオで新型コロナウイルス感染症流行期における対応の設定にしても良い。